

「雑草という名前の草はない」という言葉がありますが、草花にはそれぞれ名前があり、名前を知ると散歩がもっと楽しくなります。



ヒメオドリコソウ

シソ科 花期 4～5月

外来植物 〈ヨーロッパ〉

高さ 10～25cm。茎は四角い。葉は網目状の葉脈が目立ち、上部では密集してつき、赤紫色を帯びる。上部の葉の間に長さ1cmの淡紅色の唇形の花をたくさんつける。道ばたや土手、田のあぜなどで見られる。



ホトケノザ

シソ科 花期 3～6月

高さ 10～30cm。葉は扇状の円形で、茎に段々につく。上部の葉の付け根から上向きに長さ2cmの紅紫色の唇形の花を密につける。道ばたや土手、田のあぜなどで見られる。葉の様子を仏の蓮座にたとえるが、春の七草のホトケノザは別種のコオニタビラコ (P.19)。



オオイヌノフグリ

オオバコ科 花期 3～5月

外来植物 〈ユーラシア～アフリカ〉

丈は低く、茎はよく枝分かれして横に広がる。茎の上部の葉の間から、長さ1～2cmの柄を出してルリ色の花をつける。



犬の陰囊に似ている

陽だまりでは真冬から咲き、空き地、道ばた、田のあぜなど、どこにでも見られる。名前は実の形が犬の陰囊に似ているから。